



子どもが売られない世界をつくる
NPO法人かものはしプロジェクト

団体名 特定非営利活動法人かものはしプロジェクト

有給スタッフ人数 日本人16名、カンボジア人15名(2011年5月現在)

新住所 〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-1-10 代々木中央ビル102号室

2011年7月10日引越し予定 TEL:03-6276-1378 FAX:03-6276-1379

旧住所 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町31-8 渋谷ビレッヂ南平台 2F
TEL:03-6415-7744 FAX:03-6415-7745

E-mail info@kamonohashi-project.net

HP http://www.kamonohashi-project.net/

Twitter @kamonohashiprj

Facebook kamonohashi project / かものはしプロジェクト

※表紙の写真の女の子は、人身売買の被害者ではありません。

※かものはしプロジェクトは、プライバシー保護のため、被害者が特定される写真は使用いたしません。

この団体案内・報告書は、印刷会社様のご協力により印刷されました。

だまされて
売られる子どもを
守りたい。

団体案内と2010年度年次報告



子どもが売られない世界をつくる
NPO法人かものはしプロジェクト

Photo by Natsuki Yasuda / studio AFTERMODE

子どもが売られない 世界をつくる。



私は大学生の時に、東南アジアに行き、子どもを保護している施設を訪れる機会がありました。そこで、強い衝撃を受けました。そこにいたまだ小さな女の子たちは、施設に保護される前、無理やり体を売られていたのです。

彼女たちは家が貧しかったために売り飛ばされ、無理やり働かされていました。客の前で笑顔でないと、電気ショックを与えられたり、殴られたりしたそうです。日本で言えば、小学生、中学生の年の女の子たちが、無理やり笑顔をつくらさせて客をとらされていたのです。

彼女たちが保護された時、腕にはたくさんの電気ショックの傷跡があったそうです。「こんな小さな子どもたちが、どうしてこんな目にあわなければならぬのか…」と、どうしようもない怒りと悲しみがこみあげました。

このような状況に対して、普通の大学生の私は、何をすれば子どもたちを助けられるのか正直全くわかりませんでした。

そんな時、当時東京大学に在学中の本木と青木に出会いました。私が出会った子ども達の話をすると彼らは、「ビジネスを通じて、そういう社会問題を解決すればいいんじゃない?」と言いました。

そんなに簡単に事業がうまくいくかどうか全く分からぬので不安でしたし、なにより3人ともまだ学生でした。でも、悩んでいるその瞬間も傷つけられている子どもがいると思うと、いてもたってもいられなくなり、まずはできるところまでやってみよう!と決心しました。これがかものはしプロジェクトが誕生した瞬間でした。



共同代表
本木 恵介

共同代表
村田 早耶香

共同代表
青木 健太

最初、青木と本木は、「想いのある人が想いを形にするのを助けること」をモチベーションに関わってくれていましたが、実際にカンボジアで被害にあった子どもたちに会って、気持ちが変わったようでした。「子どもの心に一生の傷を負わせるこんな問題は絶対に解決しなければならない」、私たちは就職をやめてかものはしを続ける決心をしました。

そして9年が経ちました。もちろん、これまで大変なことがたくさんありました。上手くいかないことが多いようにも思います。ただその困難の壁の前に立たされる度に、応援して下さる人が増えました。たくさんの人の出会いがあったおかげで、これまで活動を続けることができたのだと思います。



この報告書では、9年の取り組みで、カンボジアで売られる子どもの数を減らすことができているとお伝えしています。しかし、それでもなおカンボジアに売られている子どもは残っていますし、世界では、小さな子どもたちが売られている国が数多くあります。今後、すべての子どもや若者たちが未来に希望を持って生きることができる世界を実現するべく活動地域の拡大を視野に入れながら、引き続き活動を続けていきます。

共同代表 村田 早耶香

子どもはこうして売られてしまう。

世界では、10代前半の子どもたちが無理やり体を売らされています。

家族を支えるため、明日食べるもののために、時にはドラッグ漬けにされ、

強制的に働かされています。体を売られた子どもたちが受ける被害は非常に深刻です。

宿から逃げ出そうとすれば殴られ、電気ショックを与えられます。

保護されても、周りの人から差別され、自殺をしてしまう子どももいます。



貧しい家庭では、その日食べるのも十分になく、わずかな土地と家畜を財産に生活しています。病気になると、治療代が払えないため、多額の借金をせざるをえません。貧しい家の子どもは、家計を支えるために、仕事を探しにいくのです。
親が亡くなってしまった孤児は、路上でストリートチルドレンとして暮らし、物乞いをしたり、ゴミ拾いをして生き延びています。

多くの子どもたちは、たくさんの仕事がある都會に出てきます。そんな子どもたちに、ブローカーたちが言います。
「メイドの仕事があるよ。今よりもいっぱい稼げるし、ご飯も食べることができる。」「たくさんのお金を稼げば、家族に仕送りをすることができて、親を喜ばせることができます。」
何も知らない無垢な子どもたちは、ブローカーたちの誘いにのってしまします。

今よりもっと稼ぐことができる、そう信じてついていったところは、売春宿でした。無理やり体を売られ、1日何人もお客様をとらされるのです。抵抗すれば、殴られ、電気ショックを与えられ、逃げ出すこともできません。

エイズに感染をし、命をおとす子どももいれば、売春宿から救出されても「汚れた体」と差別され、結婚できず、仕事にもつけず、自殺をしてしまう子どももたくさんいるのです。

生まれた環境が違う、 それだけで売られてしまうのです。

子どもを売らせない、 買わせない。

かものはしプロジェクトは
3つのとりくみをしています。

売らせないための2つのとりくみ

- ① コミュニティ
ファクトリー経営 → P.08-11

- ② 孤児院支援 → P.12-13

買わせないためのとりくみ

- ③ 警察訓練支援 → P.14-15

①②③のとりくみを支える2つの事業

- サポーター・寄付事業 → P.18-21
● IT事業 → P.22



大人に仕事を

売らせないとりくみ



カンボジアの農村では、貧困ゆえに子どもや女性が、売られてしまう危険にさらされています。そこで、カンボジアでも最も貧しいといわれる農村にコミュニティファクトリーという生活雑貨を手作りする工房を設立しました。ここで作った製品をカンボジア国内を中心販売することで、貧しい家庭が安定した現金収入を得て、一家が経済的に自立し、子どもが売られないよう支援しています。



カンボジアの
貧しい地域の農村の
人たちの暮らし。

貧しい地域の農村では、今にも壊れそうな家で暮らしている家族が多くいます。壁が崩れ落ちてしまっている家さえもあります。農村の女性の多くは学校に通えず、農作業をしたり、物を売ったりしながら家計を支えています。しかし、それでも、家族が満足に食べるものを手に入れることができません。そんな中、良い仕事を紹介する等という誘いがきます。ブローカー(仲買人)は、親には、決して悪いことは言いません。何も知らない少女たちが、だまされ、売春宿に売られてしまう可能性があるのです。



貧しい地域の農村の家

「毎日食べていくだけで大変だった
でも今は幸せです」

お姉ちゃんの
おかげで
学校に通えて
うれしいです!



母が多額の借金をしていました。
そのため、村の外に働きにいくこともよくありました。
いろんな仕事をして母を手伝っていました。
でも一生懸命がんばっても、
食べるものはありませんでした。

コミュニティファクトリーで働くようになってはじめて、
文字を書くことと計算を習いました。
ごはんも食べられるようになり、
弟たちも学校に行けるようになりました。
新しい製品を作るときは大変だけど、
裁縫のレベルも上がり、
ちゃんと製品を作ることができたときは
すごく嬉しいです。
本当に感謝しています。

コミュニティファクトリーで働くシナットさん

子どもに教育を。



いくつもの壁に

働く女性たちにプロとしての自覚が芽生えてきた。



日本では当たり前ですが、手洗いをする習慣がないので、ご飯を手づかみで食べて、手を洗わずに、製品をつくろうとしていました。毎食ごとにチェックが必要でした。



現地駐在の青木(共同代表)と働く女性たち

工場見学



同じように貧困層を雇い、ビジネスとして成功しているアンコールクッキーの工場を見学。工場で働く女性たちのキビキビした姿勢、プロフェッショナルさに刺激を受け、普段は恥ずかしがりやの女性たちが自発的に質問はじめました。

コミュニティファクトリーを支えた人々。

コミュニティファクトリーを成長させるために、これまで多くの方がスキルや時間を使って、ご協力くださいました。



雑貨デザイナー／本告 純子さん

メンバーのお仕事の指導にあたり、早3年。当初は砂埃の床で直に生地を裁断したり、アイロンをかけたりするのをテーブルの上するように指導する、ハ

サミは何を切るかで使い分ける様に指導する、そんなことからのスタートでした。今では商品の卸先も増え、女性の中からチームリーダーも育ち、これからが楽しみです。

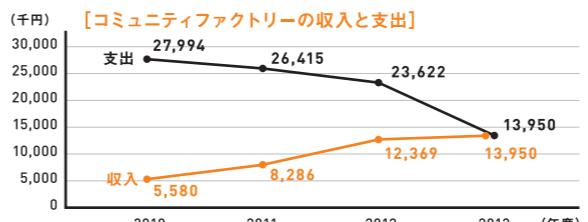


渡部 慶太さん

スオスダイ(こんにちは)! 2010年に6ヶ月間ファクトリーに勤務しました。振り返ると真っ先に頭に浮かぶのは、スタッフ・工房の女性たちの笑顔です。突然女性たちが農作業のため工房を長期お休みしたり、と日々苦労しましたが、皆の笑顔を見ると全てが吹き飛びました。文化の違いを乗り越え、良いものを作り出すという非常にやりがいのある仕事でした。

カンボジア人だけでの自立した運営へ。

自立に向けて必要なのは、財務を黒字にすること、そしてカンボジア人スタッフが運営できるよう人材育成をすることです。2010年度は前年度に比べ売上が約2倍になりました。黒字化に向けて着々と進んでいます。人材育成については、カンボジア人スタッフだけでの商品開発や問題解決は、まだ難しいので課題です。



カンボジアの高級ホテルなど43ヶ所^{*}で。

*2011年3月31日現在



商品は、カンボジアの高級ホテルやショップで扱っていただいています。売り場で得たお客様の声をもとに、商品の改善や開発を行い、差別化を図っています。

お土産ショップ「クマエユーン」

まだ残る課題と、今後の方針。

[課題]

- ① 生きる力を育むための仕組みやトレーニングの改善。→ 女性たちの夢を支援するカウンセリング、リーダーシップ育成のトレーニングを行う。
- ② 売上を伸ばすための商品開発、工房訪問者の増加。→ 在住の外国人と共同で、新商品開発や既存の人気商品の改善を行う。
- ③ 運営の自立のための組織作り、人材育成の仕組み作り。→ 人材育成専門のプロボランティアの方に、トレーニングを企画していただく。

[方針]

**かもカフェ! ボランティア/
守屋 智敬さん**
コミュニティファクトリーの意義は大きいです。問題の根底にある貧困をなくすというだけでなく、働く女性たちが「生きる力」を身につけて、自立する仕組みだからです。自立化に向けて、これからもサポートします!



アンコール
ワットから車で
約1時間!

WEBで生活雑貨を買って応援!

コミュニティファクトリーを応援してください!



I love Cambodia 検索 <http://kamop.jp/shop/>

ぶつかりながら。

頼る人がいない子どもを



売らせないとりくみ



最貧困エリア ポイペト。

ドムノータック孤児院は、最も危険な地域と言われるカンボジアとタイの国境、ポイペトにあります。タイではカンボジアに比べて高い収入を得やすいため、国境地域のポイペトには、仕事を求め貧困層の人たちがカンボジア全国各地から集まっています。この町に住んでいる家族と子どもは厳しい環境におかれています。

子どもたちが おかれている環境。

[ドムノータック孤児院にいる子どもたち]

- 労働のための人身取引被害
- ストリートチルドレン
- DV被害
- 貧困



物乞いをしていたけれど、
今は将来の夢をもっている。

ドムノータック孤児院に保護されている子どもたちは、食べるものも満足にななく、道でごみ拾いをして生活していたため、将来に希望をもつことができませんでした。しかし、孤児院で保護された今は、勉強することができます。保護された一人、ナリーちゃん(仮名)は、親が離婚し、母親はナリーちゃんを育てられなくなってしまいました。ナリーちゃんは生きのびるために、物乞いをしていました。市場に来る人にお金をもらい、なんとか生き抜いていましたが、そこは子どもが売られる可能性のある危険な場所でした。幸い、ナリーちゃんは、警察に保護され、今孤児院で暮らしています。学校にも通い一生懸命勉強しています。将来は、学校の先生になりたいそうです。カンボジアには、ナリーちゃんのように貧しく、売られてしまう可能性が高い子どもがたくさんいます。しかし、孤児院で保護されれば将来の可能性をひらくことができます。



カンボジア駐在中の、代表の本木(右)と孤児院の子どもたち



子どもたちの夢に
向かってがんばる姿に感動。

株式会社メディエイター 金井 一朗さん

会社として、パソコンを使って、カンボジアの子どもを応援しています(パソコン貢献project)。実際に孤児院を訪れ、寄贈したパソコンで、子どもたちが夢や目標を抱きながら生き生きと勉強する姿を目にして感動しました。カンボジアの子どもたちの未来を救う一助になればと願い、これからもかものはしプロジェクトを支援したいと思っております。

これから
の課題



子どもたちが18歳以上になり、孤児院を卒業した後に働く場所を見つけることが課題です。就職に賄賂を要求されることもあります。その一方で子どもたちは、自分で開業するには幼すぎます。かものはしでは、彼等が就職するにはどうすればよいか具体的な支援を検討しています。

孤児院で保護。

絶対に買わせない

買わせないとりくみ



買う人がいなければ、売られる子どももいなくなります。子どもを買う人を逮捕し、罰することは、子どもが売られる問題を解決する、最も有効な方法だといわれています。しかしカンボジアでは、警察が事件を摘発するためのトレーニングが不足していました。そこでかものはしは、カンボジアの内務省、警察、そしてUNICEFや国際NGOと協力して、2009年から警察訓練(LEAP)の支援をはじめました。



代表の本木(一番左)とカンボジア警察庁副長官

根本解決に大きな効果。



以前は、警察官の汚職・腐敗が酷く、賄賂を受け取り、売春宿に摘発情報を流したり、加害者を見逃したりしていました。少女を買うことが犯罪だという認識が警察官に浸透していなかったため、被害が見逃されることもありました。摘発に関わったNGO職員が脅迫を受けるような状態でした。



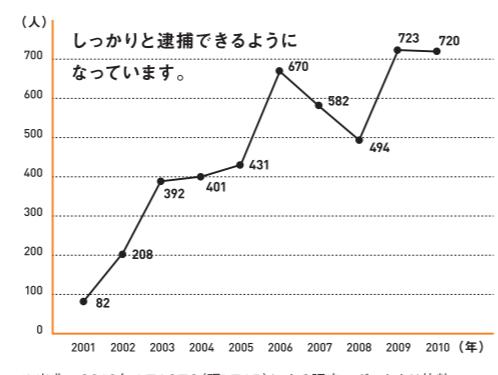
実践的な訓練

まずは、法律や逮捕の仕方を勉強し、それから、勉強で得た知識をもとに、事件の証拠をおさえるシュミレーションなど、実践を踏まえた訓練をします。



子どもを買う人の摘発数が増えました。また、売春宿に客のふりをして、潜入捜査をしたところ、多くの宿のオーナーが「警察の捜査が厳しくなったので、もう子どもは買えません」と言っています。

【性的犯罪、人身売買を行った加害者の逮捕数】



ワークショップを通じて、実際の逮捕の仕方を学んでいる警察官たち

実際に逮捕した事件。

case シエムリアップのゲストハウスを経営していた男

① は、そこで3人の従業員の少年たちに、外国人観光客向けに性的なサービスを提供させていました。それをかものはしも支援している人身売買取り締まりチームのメンバーが内偵をし、2010年8月に摘発しました。

case 日本人被告(41歳)は、13歳の少女を10ドル(900円^{*})

② で買ったとして2009年8月に逮捕されました。被告は、6~7回、13歳の少女を買ったと容疑を認めています。「少女はかわいらしく化粧をしていたので、大人だと思った」とも主張していました。2010年9月にこの被告へ下された判決は以下のとおりです。

- 7年間の実刑
- 刑期が終われば、即時に強制送還される。

なお少女が保護された政府の施設では、衣食住が提供され安心して暮らすことができます。また、カウンセリングをうけることができます。その後は、教育や職業訓練を受け、二度と被害にあわないようにサポートされます。

*1ドル=90円で計算しています。

「訓練のおかげで難しいケースも摘発」

シェムリアップ州警察 人身売買取り締まりチーム
チームリーダー ブントウ氏(写真右)のコメント



警察への訓練を行っていくなかで、昔は出来なかった事件の摘発が、出来るようになってきました。カンボジアでは、子どもを売る売春宿は減り、強制的な売春の数自体は減ってきました。しかし一方で、カラオケやマッサージ店、ホテルなどに偽装して残っている部分があり、捜査は以前より困難になってきたと言えます。ただ、ホテルで巧妙に隠れて行われていたケースにも2010年度には8ヶ月かけて内偵を行い摘発したケースがでてきました。また、ホットラインも設置され、怪しい光景を目撃したと連絡があれば、直ちに現場に向かい逮捕をするという環境も整ってきました。これからも、着実に一歩一歩、取り締まりの強化に向けて取り組んでいきたいと思います。

警察訓練支援。

売られる子どもがいなくなるように、 「かものはし」は これからも活動していきます。

[これまでのとりくみ]

- 2002年 カンボジアの被害数は90年代頃から急激に増加したため、子どもにパソコンを教えるスクールを開始、子どもが売られる問題の解決を目指す。
- 2006年 調査の結果、売られる子どもは貧しい農村の子どもが多い事が分かり、その地域の家庭に仕事を提供するコミュニティファクトリーを開始。
- 2009年 より多くの子どもを守るために、孤児院支援と警察訓練支援を開始。
- 2010年 コミュニティファクトリーで最貧困層の家庭が毎日食事をすることができ、子どもが学校に行けるようになる。

多くの人々の協力により、過去9年でカンボジアの子どもの被害者が減少！

[これからのとりくみ]

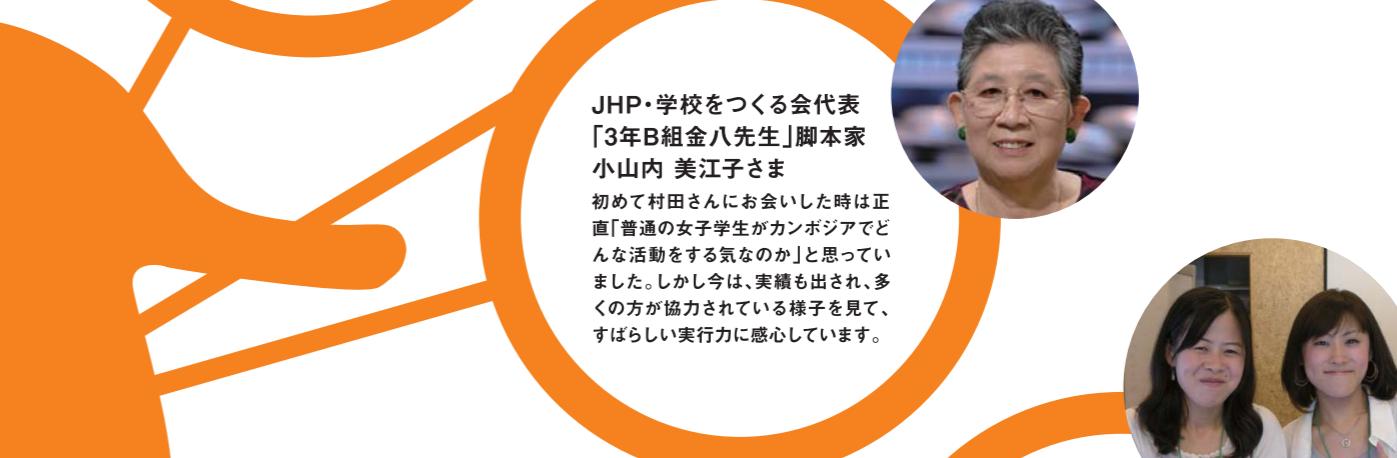
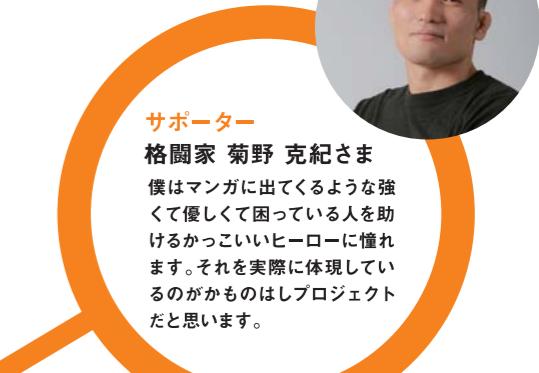
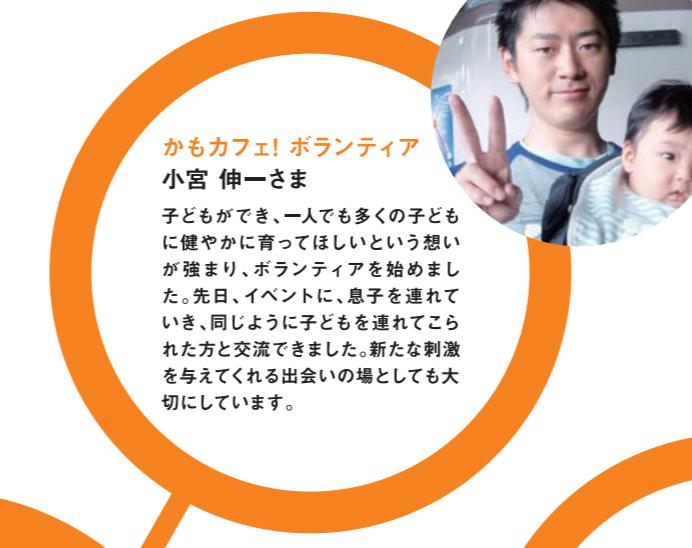
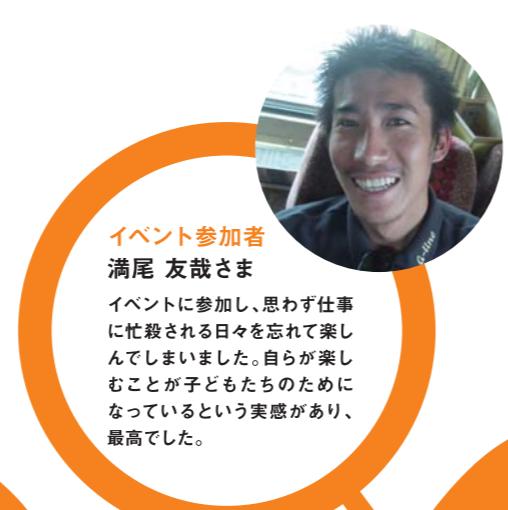
しかしながら、カンボジアでは、まだ危機に瀕している子どもがいます。売春宿ではなく、カラオケ店やマッサージ店などに偽装をしている場合や、有力者が密なルートで子どもを買っている可能性があります。引き続き、売られる子どもの数を調査し、警察の摘発を強化する必要があります。

警察訓練やコミュニティファクトリーのビジネスをカンボジア人だけで経営できるように体制を整えます。また、他国の状況を調査、諸外国のNGOと情報共有するなどして、新たな活動国を決定し、活動をスタートさせます。



「かものはし」は皆さんに支えられています。

かものはしは、約2,300人のサポーターと約100社の法人会員、
また多くのボランティアの方々に支えられ、活動をしています。



子どもと一緒に守る方法

① サポーターになる
子どもを守る月々1,000円の
寄付会員になってください。

もし誰からも手を差し伸べられなければ、
売春宿で、殴られ、無理やり笑顔を浮かべて、
働き続けなければならない少女たちがたくさんいます。
学校に行けず、教育がないために貧困のサイクルから
逃れられない子どもたちがたくさんいます。

子どもたちの未来を支えてください。
サポーター会員は月々1,000円からのご支援です。
法人会員も募集しています。

会員の方々には活動地で生まれた成長や笑顔を
定期的にお伝えするようなお便りをお送りします。
その他にも、様々なイベントを開催しています。
新しい友情が芽生えるなど、たくさんの出会いがあり
サポーター会員ならではの輪が広がります。

ぜひ応援してください！



ワタシたちが
学校に行くように
応援してください!

② ボランティアする
ボランティアって大変そう?
いえいえ、案外カンタンで楽しいです！



学生やお仕事をしている人、子育て中のママなどさまざまな年齢やバックグラウンドの方が、色々な思いから参加してくださっています。空いている時間を少し使ってお手伝いしてみたい!という方も大歓迎です。少しでも興味をもたれた方は、お気軽にご連絡ください。かものはしプロジェクトには、社会人ボランティアの「かもカフェ!」、学生ボランティアの「ゆるかも」があります。

かもカフェ!／平野 善隆さん
かもカフェ!は、コミュニティファクトリーのサポート・企業連携の企画、イベントの運営、サポートナーの方にお届けする報告書をお送りするお手伝い(ボランティア)をする仲間を募集しています。是非一度、気軽にいらしてみてください！



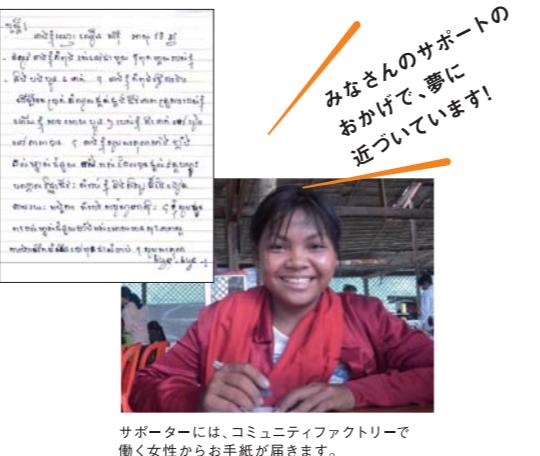
ゆるかも／佐藤 純香さん
ゆるかもでは、気軽に社会貢献に参加できるチャリティスポーツや料理教室などのイベントを企画しています。昨年は、イベントの収益で、カンボジアの工房で働く女性に遠足をプレゼントしました！



③ イベントに行く
今年もイベントを開催しますので
お気軽にご参加ください！



自分の好きなことで、
子どもたちを守りたい。



サポーターには、コミュニティファクトリーで
働く女性からお手紙が届きます。

寄付会員のお申し込みは
コチラから！手続きはカンタン！

電話 03-6276-1378

※FAXでのお申し込みも可能です。
お気軽にお問い合わせください。

WEB [かものはし サポーター](http://kamop.jp/web/)

<http://kamop.jp/web/>

携帯電話の方はこちらの
QRコードからお申し込み
いただけます。



会員になりたい！ボランティアに参加したい！
質問がある！などのお問い合わせは下記までお気軽に。

E-mail info@kamonohashi-project.net

電話 03-6276-1378

FAX 03-6276-1379

最新の
お知らせは
こちら！

[かものはしNEWS!] <http://kamop.jp/news/> [かものはしNEWS!] 検索

[メールマガジン] ホームページのTOP画面からご登録いただけます。

facebook Kamonohashi Project／かものはしプロジェクト

twitter Follow Us! @kamonohashiprj



いっぱいつぶやいています！

IT事業とは？

かものはしのIT事業部は、カンボジアでの活動促進のために、日本でWEB制作（コーディング）を行うことで資金を調達する事を主な目的としています。またこれまでに身につけたWEB制作スキルを用いて社会貢献に結びつく活動も行っています。



[2010年度活動内容]

苦難を乗り越え、目標を達成

2010年度は前年度の不況からくる苦難を乗り越え、大きく売上を伸ばすことができた一年でした。また、コーディング業務だけでなく、NGO・NPO団体のサイト制作をお手伝いしたりと、業務の幅を広げることにもチャレンジしました。売上だけでなく技術的にも成長し、またNGO・NPO団体のサイト制作を行なうことで、社会問題の認知活動にも貢献することができました。

[2010年度成果]



[企業案件]

企業のWEBサイトを制作



[生活クラブ生活協同組合]

2010年度は、コーディング事業だけではなく全体WEBサイト制作を行いました。生活クラブのブランドリニューアルの際は、制作ディレクションからコーディング制作までを行いました。今後は付加価値を付けるため、より高い技術力が必要な案件を集中的に行っていきます。

[NGO・NPO案件]

社会問題解決にITの力を



[児童労働ネットワーク (CL-Net)]

新たな試みとして、2010年度は他のNGO・NPO団体のWEBサイト制作のお手伝いも行いました。かものはしプロジェクトが取り組む問題と関連のある児童労働ネットワークのサイトリニューアルや、スタディツアーリサーチ会のサイト立ち上げも行いました。



設立当初、IT事業部は会員数が少ない中で、収益基盤としての役割を果たしていましたが、市場においてHTMLコーディングの需要は減っていること、また個人の寄付による会費収入が安定してきたことから、収益源をシフトしていく必要があります。収益性、ミッション性、スタッフのキャリアパスなど様々な要因から、2011年度を通して縮小・新事業へのシフトを行います。

もっとくわしく見る

2010年度報告と今後の戦略

2010年度は、カンボジアの被害が減少傾向にある中、まだ残る課題に向け、現地の活動に注力しながらも、今後展開していく国の検討を行いました。日本では、なんとか活動資金を集めることができました。

- 財務報告 → P.24-25
- 協賛企業・団体、メディア掲載一覧 → P.26
- 評議員・顧問からのメッセージ → P.27
- かものはしの戦略 → P.28-29
- 東日本大震災への協力 → P.30
- 代表挨拶 → P.31

収支計算書

(2010年4月1日～2011年3月31日)

		(単位:千円)					
		2009年度		2010年度		2011年度	
科目		実績	計画	実績	対計画達成率	計画	対前年度成長率
収入	[1] コミュニティファクトリー経営	3,410	4,250	5,558	131%	8,291	149%
	[2] サポーター・寄付事業	55,420	61,695	61,284	99%	65,415	107%
	会費	34,152	38,000	36,767	97%	42,915	117%
	寄付金	15,390	18,645	19,201	103%	15,400	80%
	助成金・補助金等	2,000	1,400	2,650	189%	1,500	57%
	その他(講演会・書籍販売等)	3,878	3,650	2,666	73%	5,600	210%
	[3] IT事業	47,915	46,735	55,873	120%	25,660	46%
	[4] スタディツアーア事業	1,634	1,080	2,026	188%	1,800	89%
	[5] その他(為替差益・雑収入等)	675	-	439	-	-	-
当期収入合計		109,054	113,760	125,180	110%	101,166	81%

	[1] コミュニティファクトリー経営	15,969	16,865	15,545	92%	20,661	133%
海外活動費	[2] 孤児院支援事業	1,226	3,498	2,712	78%	4,036	149%
	[3] 警察訓練支援事業	1,315	3,818	3,638	95%	3,745	103%
	[4] カンボジア事務局	8,381	6,522	6,398	98%	5,063	79%
支出	[5] サポーター・寄付事業	19,325	16,906	16,808	99%	25,110	149%
国内活動費	[6] IT事業	39,889	32,399	29,199	90%	19,474	67%
	[7] スタディツアーア事業	1,340	1,035	882	85%	1,400	159%
	[8] 日本事務局	23,856	27,468	29,200	106%	22,500	77%
その他	[9] その他(為替差損・雑損失等)	1,421	-	964	-	-	-
	[10] 租税公課/法人税等	2,286	2,000	2,447	122%	1,000	41%
当期支出合計		115,008	110,511	107,793	98%	102,989	96%

収支	当期収支差額	-5,954	3,249	17,387	535%	-1,823	-10%
前期繰越収支差額		37,620	31,666	31,666	100%	49,053	155%
次期繰越収支差額		31,666	34,915	49,053	140%	47,230	96%

収支計算書、貸借対照表は、会計帳簿の記載金額と一致し、NPO法人かものはしプロジェクトの収支状況および財政状態を正しく示していると認める。

牛乳稚幸
監査官

貸借対照表

(2011年3月31日時点)

科目		金額
資産	現金	1,039
	預金	28,800
	流動資産 売掛金	20,384
	商品	220
	その他	853
	流動資産合計	51,296
	固定資産 建物	299
	資産 差入保証金	4,108
	固定資産合計	4,407
資産合計		55,703

科目		金額
負債	流動未払金 負債 預り金	5,238
		1,411
	流動負債合計	6,649
純資産	資本金	500
	繰越利益剰余金	48,554
	純資産合計	49,054
負債・純資産合計		55,703

財務に関する分析

2010年度報告

●「収入」は1億2,518万円と2009年度比115%の伸び、計画比110%の達成となった。全事業において前年度比で順調に成長させることができた。とくに、IT事業が前年度比120%伸びたことが大きい。2009年度からの景気低迷の影響よりや回復し、受注が一時的に好調だったことによる。コミュニケーション事業は前年度比163%、計画比131%と黒字化に向けて大健闘であった。

●「支出」は概ね予算どおりとなった。円高の影響により、カンボジアでの費用は抑えられている。しかし、実際には、電気代の値上がり、必要機材の追加購入などの支出も発生した。日本事務局に関しては、期中に全体の財務状況も鑑みた上で、広報物を追加で制作したため、予算をやや超過した。

● 貸借対照表の「売掛金」が多いのは、IT事業の繁忙期が例年2月となるためである。

● 2010年9月にカンボジア人スタッフによる現金3,304.68米ドル(28万円相当)の盗難事件が発覚。後日、当該スタッフと日本人管理者の処分を決定した。また、再発防止策として、現金管理体制を強化した。被害額の返金についても本人とその家族と契約を結んだ。

2011年度計画

●「収入」が1億116万円(前年度比81%)、「支出」が1億298万円(前年度比96%)と全体的に縮小傾向にある。これは、IT事業の縮小が影響を与えている。IT事業は2010年度は粗利益額が大きくてたものの、HTMLコーディング分野における事業環境は年々悪化していること等から縮小を決定した。この間、成長性の高いサポーター事業や新規財源の開発を急ぐ。

● コミュニティファクトリー経営は2010年度は好調で555万円の売上であった。2011年度は829万円(9万米ドル弱)、2012年度で約1,120万円(12万米ドル)を目指している。

● IT事業の縮小、東日本大震災の影響により若干の赤字になるが、オフィス移転等による固定費の縮小、2010年度収支の活用により資金繰り上は問題はない。

協賛企業・団体、メディア掲載一覧



公益財団法人
社会貢献支援財団

アサガミ株式会社



大阪リバーサイド
ロータリークラブ



帝國製薬株式会社

特定非営利活動法人
ネットワーク「地球村」

公益財団法人
東京コミュニティー財団

株式会社マイジット

- 株式会社アルアールジェイ
- 株式会社アイエー
- IAC総合不動産鑑定
- 会津若松ザベリオ学園
- 青木紀久子様チャリティーコンサート
- 株式会社青山プランニングアーツ
- VGホールディングス株式会社
- 株式会社HRインスティテュート
- MS&ADインシュアランングループ
ホールディングス株式会社
- 株式会社大手
- 大宮さくらライオンズクラブ
- 有限会社オノクラ
- 柏木建設株式会社
- カタログハウス・小銭の会
- 川崎南ロータリークラブ
- 株式会社ぐるなび

- KDDI株式会社
- 国際ロータリー第2780地区
- 株式会社ジャクバ
- 一般財団法人ジャスト・ギビング・ジャパン
- 住友生命保険相互会社
- 国際ソロブチミスト東京一東
- 世田谷聖母幼稚園
- 高園産業株式会社
- 特定非営利活動法人チャリティ・プラットフォーム
- 有限会社テニスピアジュエ
- 東京中央ロータリークラブ
- 東京都市大学学生団体連合会横浜分室
- 株式会社永屋
- 一般社団法人日本弱酸性美容協会
- 日本電算機販売株式会社
- ハウジングスカイ株式会社
- PARACUP～世界のこどもたちに贈るRUN～

- 株式会社ビッグキャッスル
- 富士ゼロックス株式会社
- 富士ゼロックス株式会社 端数俱楽部
- 社団法人船橋法人会
- プラス・カスミシモ有志
- 株式会社ブリングアップ
- 株式会社ブレースホーム
- 株式会社松尾商行
- まんぞく屋
- 株式会社メディエイター
- 椰子の芽会
- ヤフーボランティア
- 横浜南ロータリークラブ
- ライスの鈴木
- 株式会社リアライズ
- リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社
- 有限会社Relax NOISEKING

- 株式会社アイエスアール
- 株式会社アイル
- 株式会社アンナ
- 株式会社江戸川双輪舎
- 株式会社エフ・コード
- 株式会社MGM 美容室女
- 大磯ロータリークラブ
- 香川県中小企業家同友会 有志
- 社団法人葛城青年会議所 有志
- カトリック会津若松教会
- かながわ湘南ロータリークラブ 有志

- COLOR RHYTHM
- QSC勉強会グループ
- 国際ソロブチミスト福島
- こども富貴堂
- 三育学院大学 有志
- (株)三輝 グーテ・ド・ママ
- 株式会社シゲモリカメラ
- 酒房一暮金
- JANIC NGOサポート募金
- 医療法人社団青冥会ミタニ藤田病院
- 仙台白百合学園中学校 有志

- 株式会社ソニー・デジタル・エンタテインメント・サービス
- 東京田無ロータリークラブ 有志
- 東京マリーンロータリークラブ 有志
- どこも富貴堂
- トーラトーラ
- どんぐりカンパニー
- 株式会社ノースユナイテッド
- NORIKO株式会社
- hand&product
- 漁野工業有限公司
- YANIC NGOサポート募金
- 医療法人社団青冥会ミタニ藤田病院
- フェリス女子学院大学奨学会

※順不同、敬称略

- 賞**
- 2005年 日経Woman ウーマンオブザイヤー、リーダーシップ部門史上年少で受賞
 - 2006年 日本青年会議所、人間力大賞準グランプリ
 - 2007年 ジョン・F・ケネディやジャッキー・ケネディも過去に受賞したTOYP(世界で最も傑出した若者たちに贈られる賞)受賞
 - 2011年 ジョンソン・エンド・ジョンソンによるヘルシー・ソサエティ賞を受賞し、皇太子殿下に謁見

- テレビ**
- 2008年 1月 NHK教育「福祉ネットワーク 社会起業家の挑戦—カンボジアの農村を救いたい—」
 - 2008年 7月 テレビ東京系「カンボジア宮殿 世界を救う社会起業家たち！」

- 新聞**
- 2008年 12月 每日新聞 共同代表村田の講演会掲載
 - 2009年 5月 産経新聞 共同代表村田のインタビュー掲載
 - 2009年 6月 THE DAILY YOMIURI 読売英字新聞 かものはしプロジェクト紹介
 - 2009年 9月 日本経済新聞夕刊「フォーカス」で、かものはしプロジェクト紹介
 - 2009年 9月 朝日新聞夕刊 共同代表村田のインタビュー掲載
 - 2009年 9月 朝日新聞朝刊 かものはし×ボリバントの500円募金ユニフォームキャンペーン掲載
 - 2010年 1月 読売新聞朝刊 多摩地区版 「世のためシゴト」コーナーでかものはしプロジェクト紹介
 - 2010年 12月 朝日新聞夕刊「ニッポン人脈記」にかものはし代表村田インタビュー掲載

- 雑誌**
- 2008年 2月 読売ウイークリー『新就職先「ソーシャルベンチャー」って何?』
 - 2008年 6月 月刊 ニッキンマネー「輝く」
 - 2009年 2月 クロワッサン 特大号「あなたに伝えたい」
 - 2009年 7月 日経ウーマン8月号 共同代表村田著書「いくつもの壁にぶつかりながら」紹介
 - 2009年 8月 アントレ10月号 特集【起業して上手くいく人の「磁力」大研究】
 - 2010年 7月 THE21「いま輝くビジネス・ウーマンの肖像」
 - 2010年 12月 25ans 社会貢献特集
 - 2011年 2月 日経ウーマン3月号「幸せな仕事ベスト30」

- 著書**
- 2009年 6月 「いくつもの壁にぶつかりながら」PHP研究所 村田 早耶香 著



Amazonでお買い求めいただけます。

評議員・顧問からのメッセージ

かものはしはご経験豊かな方々に支えられています。

かものはしは、より適切で、より早い問題解決を行い、多くの子どもたちを守るために、さまざまな専門分野でご活躍されている方々に、評議員・顧問として、定期的に経営に関するご指導をいただいています。

[顧問]
下澤 岷さま
静岡文化芸術大学
教員



カンボジア以外の国の足掛かりを見つけた最初の年になったことは大きな成果だったと思います。これでカンボジアの活動が以前よりも相対化され、新しい国を加えた会のビジョンづくりが加速化していくと思います。コミュニケーションづくりの成長も大きな成果だったと思います。今後は、コミュニケーションファクトリーの成長も大きな成果だったと思います。今後は、コミュニケーションファクトリーの段階的委託を具体的に考えること、カンボジアと平行して、もうひとつの国の可能性について、議論をさらに進めることだと思います。

[評議員]
石関 正浩さま
国際NGO
元カンボジア駐在員



ビジョン実現に向かって、バージョンアップしているかものはしに期待しています。中長期計画の下、四半期ごとに事業計画や資金調達を見直し、施策を打ちだしていくスピード感と実行力は確かなものです。日本のNGOは一般的に組織経営が弱いと言われますが、かものはしは、独自のネットワークやアドバイザーのリソースをうまく使い、フレキシブルでダイナミックな組織経営スタイルを確立しつつあります。これから展開が楽しみです。

[顧問]
鵜尾 雅隆さま
株式会社ファンドレックス
代表取締役



設立して9年目。この間の苦難と成長の歩みは大変ながら、素晴らしいものでしたと思います。2010年度を振り返っても、課題点を明らかにしてひとつ克服していく継続的な姿勢が評価できると思います。現時点で残されている課題は数多くあると思いますが、10周年などの区切りはひとつの変化のタイミング。この1年をしっかりと課題克服にとりくみ、2012年、次の10年に向けた社会を巻き込む大きなメッセージを発信できるようになってもらいたいと思います。

[評議員]
岡崎 邦明さま
有限会社アルゴソフト
代表取締役



国内外の環境変化をよく認識して、素早く行動できていると評価できます。目標達成の方法は変えてもよいですが、目標は変えないよう、また対応に時間がかかるものがあることを留意して活動して下さい。かものはしの現場はあくまで現地です。現地のことでもっと知り精通することが課題です。広がる領域で活動をうまく進めるため、人とプロセスの両方を押さえた対応を期待しています。

[評議員]
小城 武彦さま
東証一部上場会社
代表取締役社長



2010年度の活動は、概ね順調だった。一方、コミュニケーションファクトリーの自立化の摸索、今後の新たな財源の摸索や他国への展開の検討など、この1年間にかものはしプロジェクトが直面した課題は、組織体の成長に当然に伴うものであり、これらを乗り越えていくことは宿命とも言える。2011年度が、新たなステージへのステップアップの年となるべく、皆さんの活躍に期待したい。

[評議員]
越 純一郎さま
株式会社せおん
代表取締役



過去3年で、かものはしプロジェクトの基盤が格段にしっかりしてきました。もちろん、ミッションは変わっていないものの、次の時代を考えることが必要になっています。こうした節度、新機軸の策定、体制変革などは、いかなる組織でも宿命です。かものはしも、その時期に来たことは、当然であり、そしてその経験を活かして欲しいと思います。

[評議員]
鈴木 敦子さま
NPO法人 ETIC.
事務局長



2010年度かものはしプロジェクトは様々な角度から自問自答する時期でした。その問い合わせるために、より自分達がやるべきことや、かものはししさを真剣に内外部で議論し、それが2011年度の計画に反映されています。今年も大きな挑戦になりますが、その挑戦を心より支持し、応援したいと思います。

[評議員]
高橋 義孝さま
経営コンサルタント



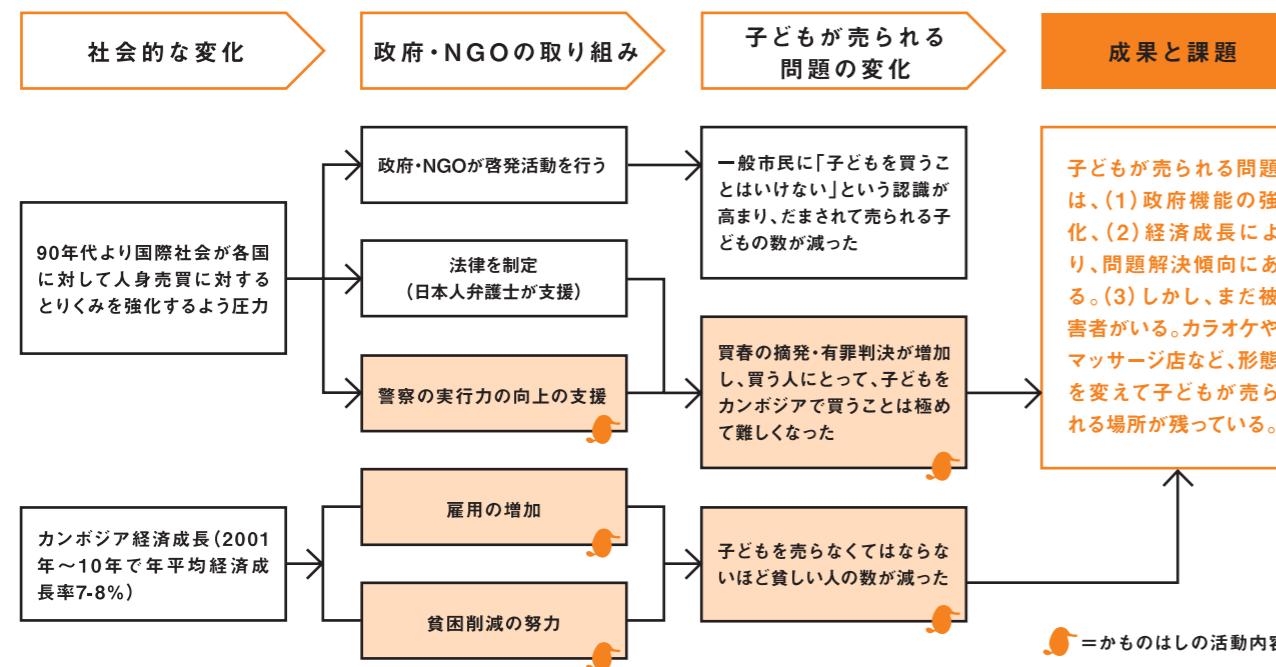
コミュニケーションファクトリーと警察訓練支援の推進による成果がみえる一方で課題も多い。日本では社会貢献や寄付という文化が根付きはじめているが、震災などの国内問題に関心が向かっている。支援者に今と変わらず支援し続けていただくには、さらなるコミュニケーションアイデアが必要であろう。個人的には、数値の改善以上に、救われた子どもたちの笑顔やコミュニティの活気といった現場の臨場感を伝えていく方向性が必要だと感じます。

[顧問]
田作 朋雄さま
事業再生アドバイザー



2010年度は、①カンボジアでの問題減少傾向、②IT事業のあり方に関する判断の必要性、③期末直前の東日本大震災発生、などの諸事情に直面して、むずかしい舵取りを迫られた1年でしたが、そのつど若々しい英知が結集されて、つねに的確な決断力と実行力とが示し続けられてきたことは、大きな賞賛に値することと言えます。2011年度もこの前向きな姿勢を貫いてください。

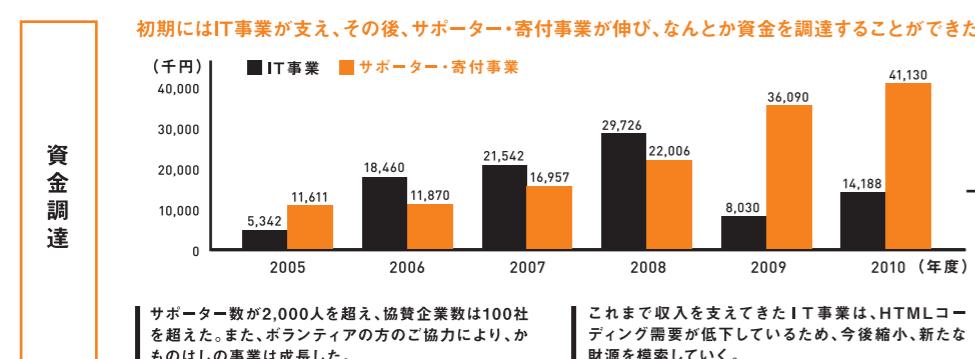
カンボジアで子どもが売られる問題は 解決傾向にあるが、まだ課題は残る。



[かものはしの事業評価]

多くの人の協力を得ながら、
問題解決に貢献することができた。

カンボジア事業	コミュニティファクトリー経営	最貧困層に雇用を創出することができた カンボジア最貧困地区に住む10万人の中から最も貧しい家庭に、収入向上・生活スキル向上の支援をした。最貧困層を支援するがゆえ、時間と費用がかかることは課題である。
	孤児院支援	最も売られる危険性の高い子どもたちを保護した 極めて子どもが売られるリスクが高い地域にある孤児院を支援し、子どもたちを保護し、十分な衣食住と教育を提供できた。
	警察訓練支援	カンボジア全体の子どもが売られる問題を取り締まることに成功! 性的犯罪、人身売買を行った人を720人(2010年)逮捕できた。 ※2001年～2010年の逮捕者数総計は、4,650人。



今後、活動を拡大するために世界を調査し
次の展開への準備をしています。

パンダラデシュ

イスラム教、貧富の格差等を背景に子ども、女性が体を強制的に売られ、強く搾取されている。その数は約5万～10万人(その内、子どもは30%)と言われている。2000年頃から、NGOによる支援が行われている。

インド

●300万人(そのうち3割が子ども)が体を売られていると言われている。貧富の差、カースト制、政府の汚職などが要因となっている。売春宿は古くから存在する。●ムンバイ・コルカタなど警察やセックスワーカーの自治力強化により、解決が進んでいる地域とそうでない地域がある。

東南アジア全般

全般的に法執行が強化されている。アメリカ国務省のプレッシャー及びNGO、政府の協力によるものではないかと考えられる。しかしながら、各国間で人の移動が増えたり、人身売買は増えている。また、まだ詳しい現地調査をしていないため、調査が必要である。

体を売っている子どもが明らかに存在する。しかし、東南アジアに比べ、性を売るに対して相対的に抵抗感が少ないため、強制・搾取されているというよりは、半自発的なケースが多いと言われている。

オレンジ=現地調査をした国

かものはしの新しい活動国候補

活動展開の可能性が高い国 → インド、パンダラデシュ、パプアニューギニア

活動展開の可能性がある国 → ケニア、エチオピア、中国、フィリピン、ラオス、ベトナム、マレーシア、インドネシア

問題解決している国での共通する特徴

子どもが売られる問題が、「社会の闇」として無視されるのではなく、告発されており、国内・国外での関心を集めている。そして、市民社会において子どもが売られる問題を許さないという共通したコンセンサスがとれている。

NGOと政府がよきパートナーとして活動している。法律を整備したり、被害者のケアを行っている。

※専門家、現地に駐在されている方、情報がございましたら、ぜひご連絡ください。
info@kamonohashi-project.net

警察中枢・NGOは、アメリカ国務省が毎年行う、国の取り組みに対する評価付けを重要な指標として、活動している。

今後の事業方針

NPOとしてかものはしの経験を活かし、
さらなる活動を進めていく。

- カンボジアでの問題解決について深く理解する。
- カンボジアで得たノウハウを新しい国で活かし、また世界の仲間団体と連携していく。
- コミュニティファクトリーは、自律的発展を促し、また、子どもが売られる問題の解決に、より貢献できる道を探す。
- 資金調達面はサポーター・寄付事業を主力にし、それに加え、新しい財源の開拓にも努力をする。
- かものはしのスタッフ・サポーター、ボランティア、みなさんのお力を活かし、子どもが売られないようにする。
また関わった人全員にとって喜びとなるようなサポーター事業をつくる。

世界はつながっている カンボジアから日本へ

2011年3月11日に日本を襲った東日本大震災は、カンボジアでも大きく報道されました。コミュニティファクトリーで働く女性にも写真と映像で地震の様子を見てもらうと、その被害の深刻さにショックを受けていました。

地震といつても、カンボジアには地震がないので、彼女たちには全く想像がつきません。彼女たちのほとんどが海を見たことないので津波の想像もつきません。

しかし、女性たちは日本の深刻な状況を感じ取り、駐在員にそっと紙幣を手渡してくれたのです。しわくちゃで茶色く汚れた村の人たちの生活がかかった紙幣。「元気をだしてください」と言葉をかけながら、次々と寄付をしてくれました。

日本とカンボジアという国境を越えてお互いに助け合える関係を築いていると実感した瞬間でした。



ニュースを見て日本の地震の事を知る女性たち

被災地派遣 ボランティア

避難所で多様な配慮を必要としている方々がおられました。妊産婦、アレルギーをお持ちの方、難病患者などの方々を支援する「つなプロ <http://blog.canpan.info/tsunapro/archive/1>」というNPOの協働プロジェクトに協力することで被災地への支援を行いました。つなプロでは、ボランティアを派遣し、被災地でのニーズを把握、個別支援を行っており、かものはしは、その東京側のボランティアコーディネートを担当しました。代表の村田自身も「つなプロ」のボランティア派遣第一期として、宮城県の避難所をまわりました。



宮城の被災地

緊急支援NGOの WEB更新のお手伝い

IT事業部のスタッフが、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン(PWJ)さまや、公益社団法人 Civic Forceさまのホームページにおいて、東日本大震災支援活動に関連する緊急更新作業を無償で行いました。

かものはしプロジェクトの特性を活かし、ご協力できたことを嬉しく思います。



ピースウィンズ・ジャパンホームページ <http://www.peace-winds.org/>

2010年度も応援ありがとうございました。
これからも子どもを守り続けられるよう
ご支援よろしくお願ひします。



共同代表
青木 健太



共同代表
村田 早耶香



共同代表
本木 恵介

昨年はコミュニティファクトリーの売上が大きく成長しました!その中で、ファクトリーで働く女性たち自ら、こうすればよいのではないかというアイディアが出たとき、運営の自立へ大きく近づいている事を感じました。本年はファクトリーの黒字化、運営の自立化を目指します。トレーニングの改善や生産管理の高度化など課題は山積みですが、皆で一丸となって挑戦したいと思います!

皆様のおかげで、まだ売られている子どもは残っているものの、カンボジアでの状況が大分落ち着いてきました。世界にはまだたくさんの子どもたちが売られています。皆様からのご支援があれば、より多くの子どもたちを助けることができます。2011年度も、どうぞご支援よろしくお願ひいたします。

昨年はバングラデシュ・インドに渡航し、カンボジア以外にも多くの苦しんでいる子どもがいることを目の当たりにしました。かものはしプロジェクトは、子どもたちがだまされて売られないようにするスペシャリストとして、今年も尽力します。それと同時に、関わる人が成長と幸せを得られる場として発展させていきたいと思っております。

この団体案内・報告書の制作にご協力いただいた方々

表紙とP06-07で使われている写真は、フォトジャーナリストの安田菜津紀さんにご提供いただきました。安田さんは、高校生の時に訪れたカンボジアで、人身売買の被害に遭った子どもたちに出会われてから、写真で世界の問題を伝え続けています。人身売買問題に貢献されたいという思いから、この度かものはしプロジェクトにご協力くださいました。

安田 菜津紀さん
フォトジャーナリスト
studio AFTERMODE 所属



1987年生まれ。2003年8月、「国境なき子どもたち」の友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。守るものがあることの強さを知り、彼らの姿を伝えようと決意。2006年、写真と出会ったことを機に、カンボジアを中心に各地の取材を始める。現在、東南アジアの貧困問題や、中東の難民問題などを中心に取材を進める。2008年7月、青年版国民栄誉賞「人間力大賞」会頭特別賞を受賞。2009年、日本ドキュメンタリー写真ユースコンテスト大賞受賞。写真展に「緑の壁」HIVと共に生きる(2010・コニカミノルタプラザ)など。上智大学卒。

坂之上 洋子さん
ブランド戦略コンセプター



シカゴ、ニューヨーク、北京と15年以上の海外生活後、現在東京在住。政治家、企業、NPOのブランディング戦略が主な仕事。ブログや執筆した本が人気で最近は大学や企業での講演も多数。

[ブログ] <http://blog.sakanoue.com/>
[Twitter] @sakanoue

生駒 浩平さん
アートディレクター/
グラフィックデザイナー



1982年生まれ。桜美林大学卒。広告会社でグラフィックデザイナーとして約5年間勤め、2007年からA SEED JAPANや、SHAPLA NEERの印刷物をブランドディレクターなどで作成。2010年6月から約1年半の世界一周旅行に。広告の意義を考え、帰国後はサステナ所属のフリーランスデザイナーとして企業のブランドディレクティングやNGO/NPOのデザインを。デザインの力で少しでも世界を変えるために活動中。デザインのご相談はお気軽に koheiikoma@gmail.comまで。